



# JREU TOKYO 業務部速報



2023. 12. 14 No.023

発行：JR東労組東京地本 業務部

## 東地申第5号 「埼京線の乗務員基地再編について」に関する解明申し入れ 団体交渉を行いました(その③)

4. 埼京運輸区設立によって、施策を担うために支社間異動をする組合員や社員に対する首都圏本部の認識を示すこと。

(会社回答)異動については就業規則に則り取り扱うこととなる。

### その②からの続き

(組合)今回の異動は希望を100%叶えるのが理想と考える。そこに向けて努力をして頂きたい。

(会社)社員の希望が全て叶うのが社員の成長につながるのとは別である。

(組合)そうかもしれないが、大宮支社内の「廃案」によって職場が混乱した状況である。廃案は過去にない。不安を払拭しJR東日本の安全安定輸送を担うには、しっかり希望を叶えるべきだ。支社間異動は相当な決意である。

(会社)希望を社員から取って社員の成長につながる人事異動を今後も行っていく。必ず希望通りの約束はできない。

(組合)廃案はミスではないか。そこまで費やした時間とお金がかかっている。社員の思いを受け止めてくれ。

(会社)ご意見として承る。

(組合)社員は支社間異動に非常に高いハードルを感じている。将来設計や生活設計に与える影響が大きいからだ。その認識は持っているのか。

(会社)支社間異動は今後のキャリアビジョン等が大きく変化するため社員にとってはハードルが高いことは認識している。

(組合)異動先は首都圏本部、実際の面談を行っているのは大宮支社内の職場である。首都圏本部も社員の希望などは把握しているのか。

(会社)必要な情報については共有している。

(組合)不当労働行為については決してあってはならないという認識である。それに加えて異動のタイミングという社員が不安定な時期は一層の注意を喚びていただくことは、こちらからは要望として伝えさせていただきます。

5. 埼京運輸区設立にあたり今後どのように現場社員の意見を集約し、それを反映していくのか具体的に示すこと。

(会社回答)必要により社員の意見も参考にしながら、準備を行っていく考えである。

(組合)現段階で職場を作っていく中で、トイレが何個欲しいとか、そういう集まっている声はあるか。

(会社)作った後が大事で発足後も柔軟に対応する。乗務員のカバン置き場、食事スペースが狭いなど、過去の課題も含めて積み上げながら勉強していく。

(組合)備品はPTメンバーの方、管理者に相談して改善していく感じか。

(会社)その通りだ。現場で改善できるところはしていく。カバン置き場が想定よりも多く使うような声を聞いている。ラックを増やしたり、出来る事は対応していく。

(組合)掛け時計は、電波時計でないので時間がずれる。ポットに給水するものがないので片手鍋で給水している。出面表がないなど、改めてメンバーと話しながら改善をお願いしたい。ワーキングの体制はどうか。

(会社)大宮の交渉の時と変わらない。当直ワーキング、指導計画ワーキング等複数のワーキンググループが活動している。より職場の声が反映されるように努力や社員周知を行っていく。